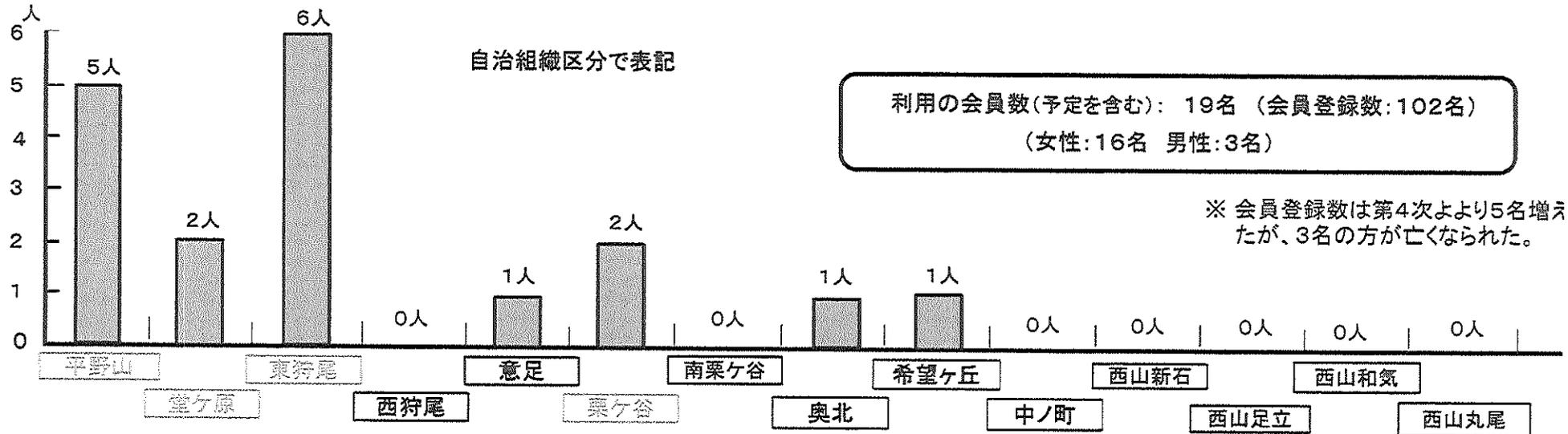


□ サービスを利用された会員のお住まいは？

・ 実施期間: 令和4年 11月25日(金) ~ 12月24日(土)

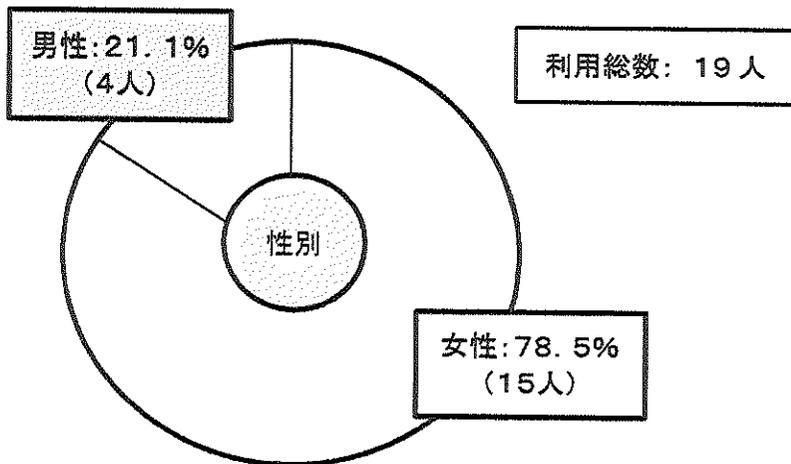


□ 個人ごとの利用回数は？

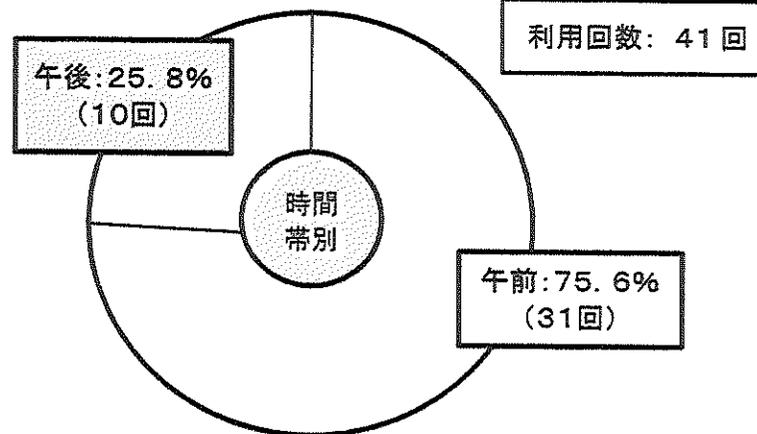
No.	コード	性別	回数	No.	コード	性別	回数	No.	コード	性別	回数	その他
1	I. S	W	9	8	F. S	W	1	15	M. T	M	1	総運行回数:57回 (稼働日数:25日) 1日当たりの運行数 =2.28 (運行)
2	A. A	W	5	9	M. Y	W	1	16	S. Y	W	1	
3	H. T	W	4	10	T. H	W	1	17	O. H	M	1	
4	S. S	W	4	11	I. H	W	1	18	K. K	W	1	
5	H. K	M	3	12	O. T	W	1	19	Y. M	W	1	
6	Y. S	W	3	13	U. S	W	1	20				
7	S. Y	M	2	14	Y. T	W	1	21				

利用会員による利用実績の結果のまとめ II

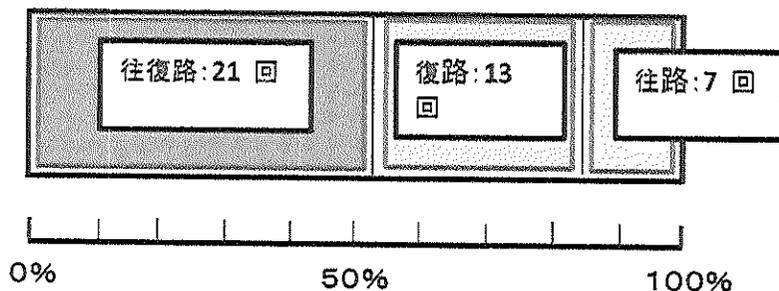
□ 利用された会員の性別は？



□ 利用された時間帯 (午前・午後) は？



□ 利用モード (往復・片道) は？



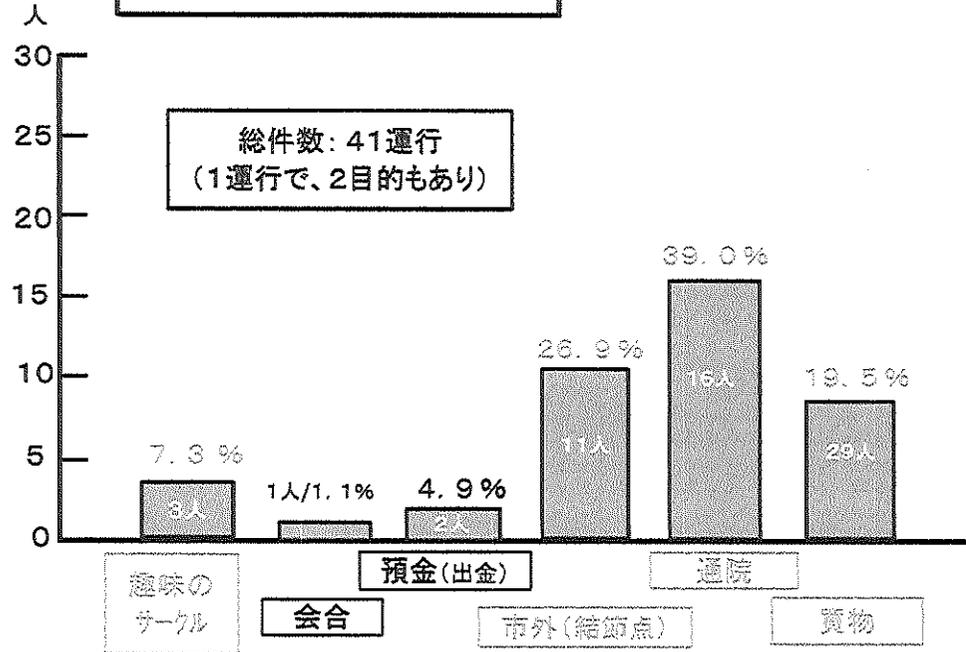
※1: 往復路とは、行きも 帰りも利用
 ※2: 往路とは、行きのみを利用
 ※3: 往路とは、帰りのみを利用

□ 外出が多い (もしくは少ない) 曜日は？

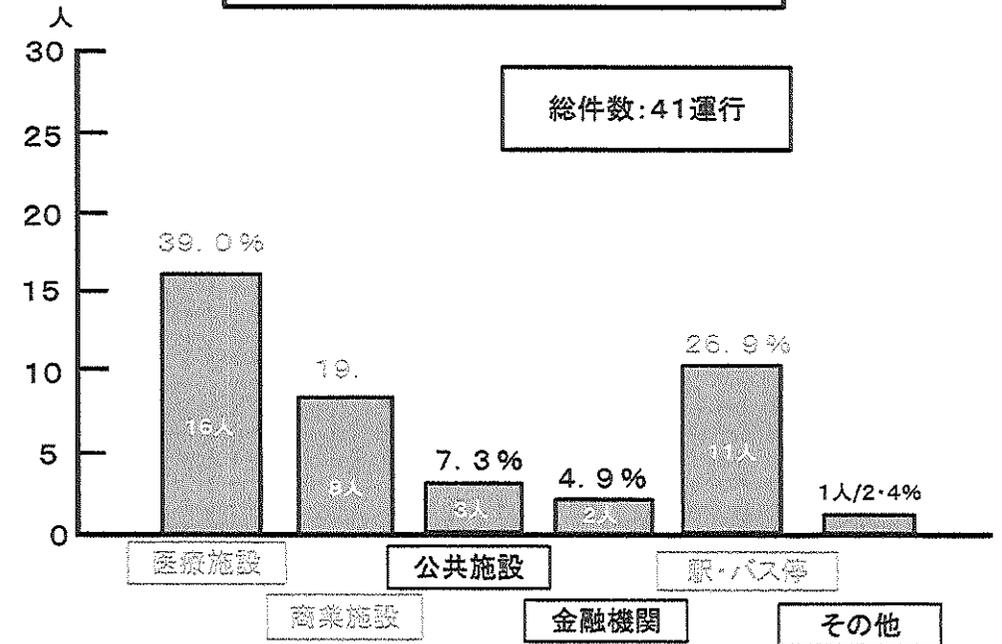
曜日	運行日数	利用人数	占有率 (%)
月曜日	6	12人	14.6
火曜日	8	22人	19.5
水曜日	3	5人	7.3
木曜日	10	16人	24.4
金曜日	7	2人	17.1
土曜日	7	8人	17.1
合計	41人 (25日の稼働)		100%

道しるべ 移動サービス 第5次実証実験 (IT合理化検証実験)
利用会員による利用実績の結果のまとめ III

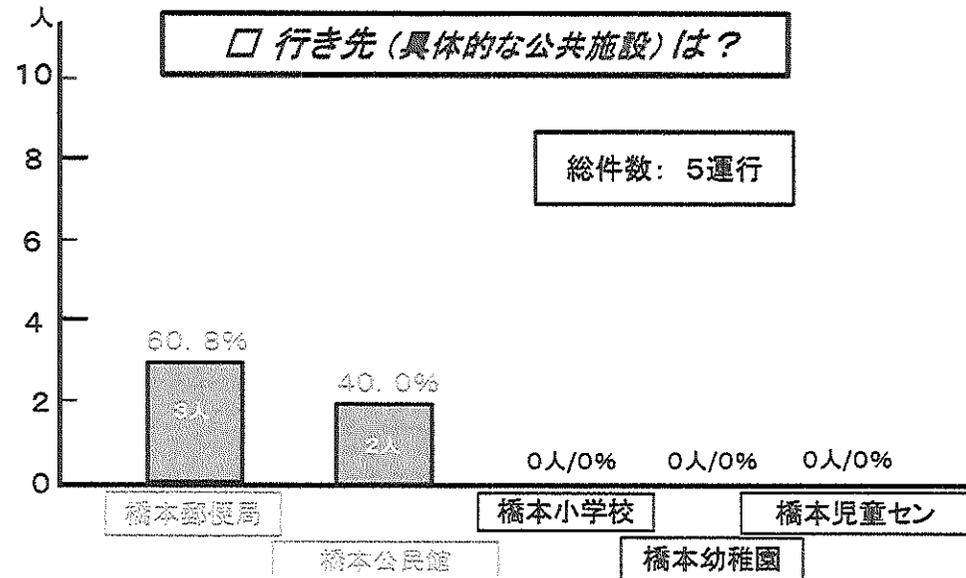
□ 外出の目的は？



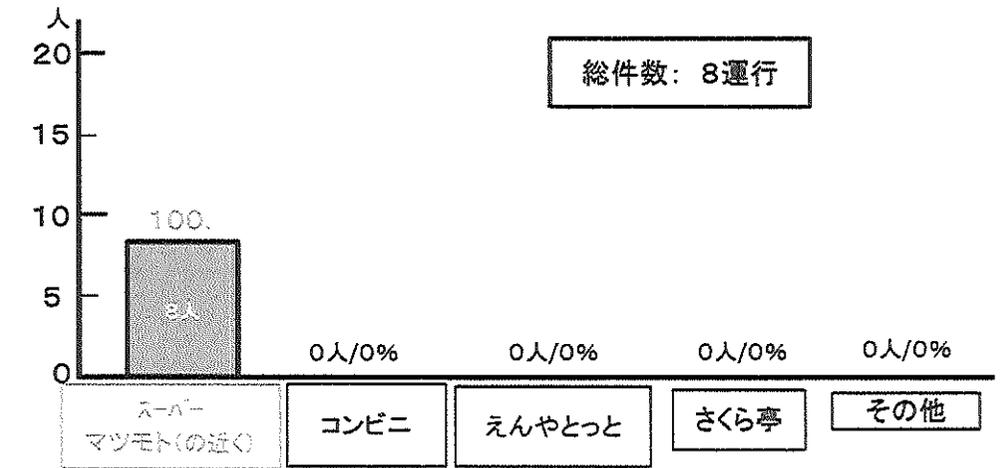
□ 行き先 (施設分類) は？



□ 行き先 (具体的な公共施設) は？

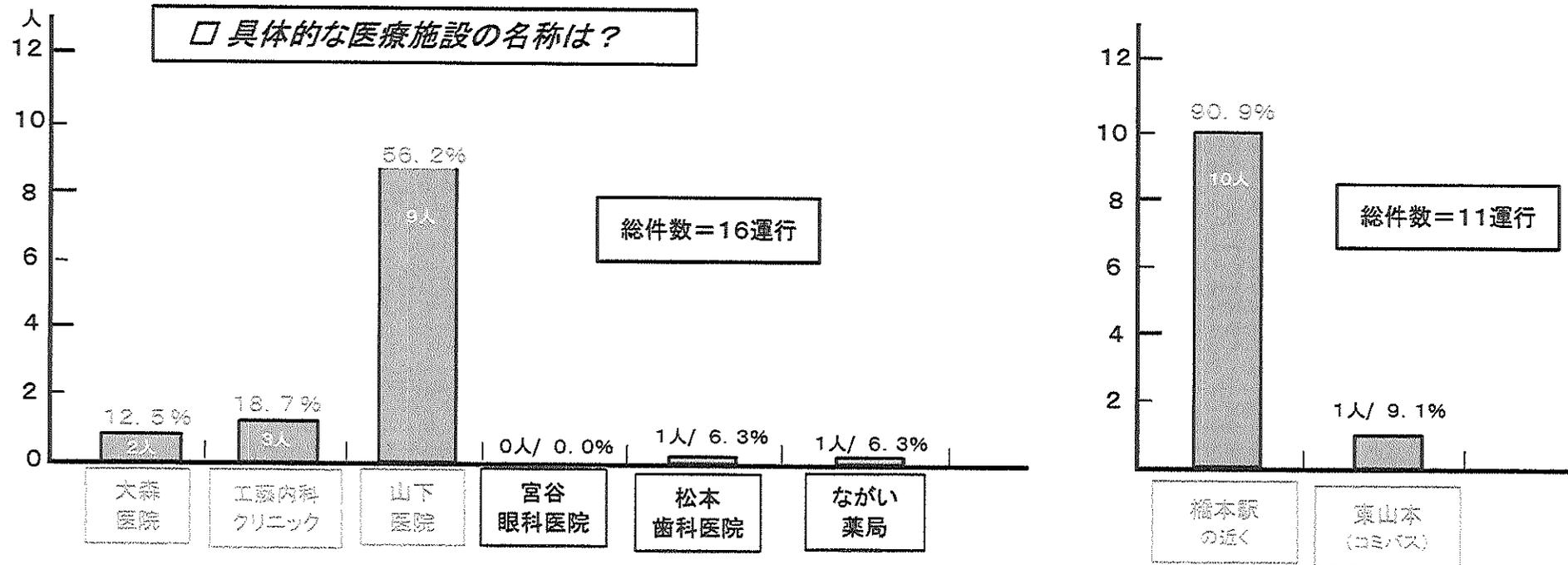


□ 行き先 (商業施設) は？



道しるべ 移動サービス 第5次実証実験 (IT合理化検証実験)

利用会員による利用実績の結果のまとめ IV



これらの結果からわかったことは……

- 1、利用された方のお住まいは、公共交通から比較的遠く、高齢化が進んでいる 東狩尾、平野山、堂ヶ原、栗ヶ谷に多い。
- 2、利用会員の比率は、女性が約80%と圧倒的に男性を上回る。男性の利用は4名で、第4次を1名上回る。
- 3、利用の時間帯は、午前が約75%、午後が約25%で、午前の利用が3倍多い。(運転協力者の配置に影響か?)
- 4、利用ルート of 往復路別では、往復利用が約50%と最も多い。復路のみ利用が約30%、往路のみの利用が20%と続く。復路のみの利用は、帰りが上り坂であることから、その利用を促している(特に買物帰り)。往路のみの利用では、地域外への移動のための利用で、京阪 橋本駅での電車への乗り換えのためである。(交通結節点へのワンマイルストップ移動に適っている。)
- 5、曜日別では、利用の曜日が“0”の日はない。水曜日の利用数が比較的少ない。2つの医院が休診日でその影響か? その反動で翌日の木曜日が多くなっている。

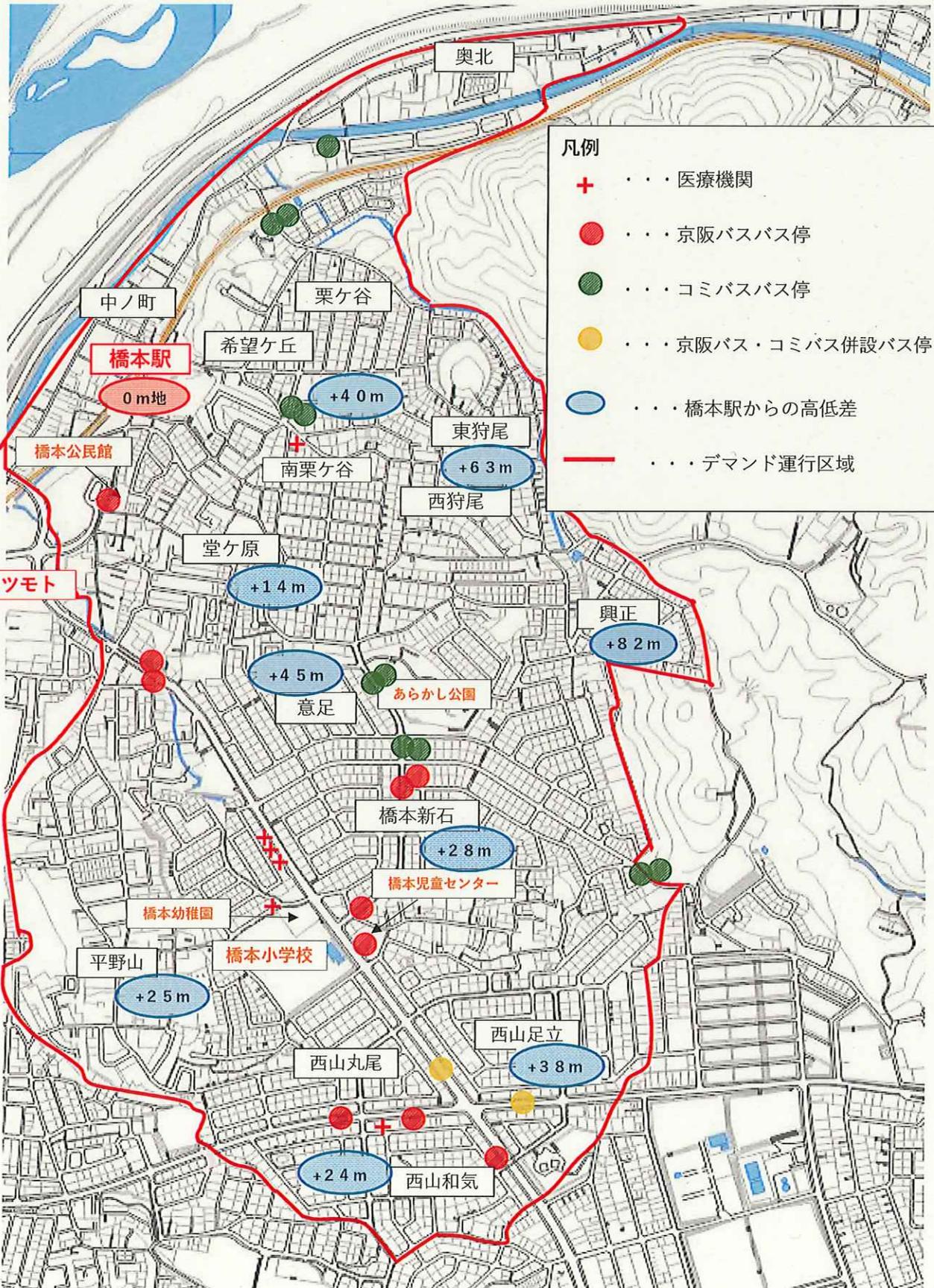
利用会員による利用実績の結果のまとめ V

これらの結果からわかったことは……(4ページからの続き)

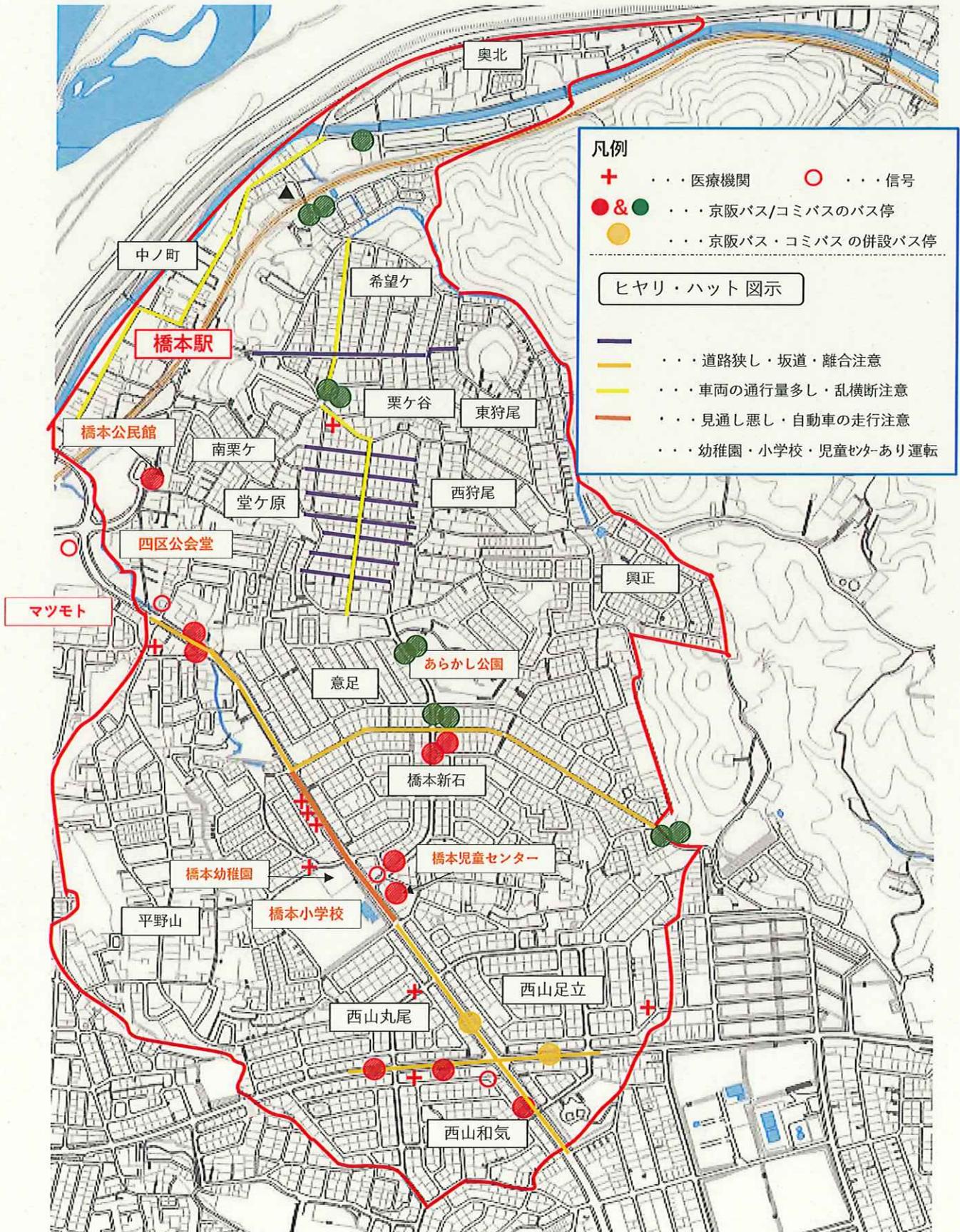
- 6、利用目的は、1番目に医院、2番目に交通結節点までの利用、3番目に買物と続く。
- 7、行き先別(公共施設等)の分類では、橋本郵便局や橋本公民館の利用がある。若年層の利用施設である 橋本小学校や橋本幼稚園、橋本児童センターの利用は無い。
- 8、商業施設の利用では、唯一のスーパーであるスーパー マツモト(の近く)の利用のみ。
- 9、橋本地域内にある医療施設の利用では、山下医院を含めて、3つの医院への通院に利用されている。歯科医院の利用は1件と以外と少ない。処方箋によるお薬を薬局から受け取るときの1件の利用があった。
- 10、交通結節点に対する利用は、地域外への目的地への利用として位置づけられるが、今回の実験では、橋本駅(の近く)への利用が予想より、10件多かった。コミバスの停留所へは、1件のみで京阪バスの停留所は"0"であった。今後は、それらに対する利用促進する情宣が必要。
- 11、相乗りの利用者も複数件あり、これについても件数のアップに取り組む。

今後の取り組みについて

- 1、今年度中(~2月)に近畿運輸局 京都運輸支局 の公共交通空白地有償運送の許可(登録)手続きを終了し、運営及び運行体制の体制を整備する。
- 2、本格的な有償運行は、来年度(4月1日~)からとし、移動が困難な利用会員の期待に応える。
- 3、利用会員の利用率が、まだまだ低いため(現状は25%程度)、その向上や、運行数の拡大に向けて、関係組織と協働して、積極的に取り組む。



八幡市橋本西山地域オンデマンド交通 運行区域のヒヤリハットマップ



八幡市地域公共交通会議で合意した区域を表記したもの